

ブフの分類

分類	地域・形態	コスチューム	身体表現・儀礼的所作	ルール	称号の有無
立合型	ハルハ・ブフ (モンゴル国)	帽子、ゾドグ (zodog、ナイロンまたは絹製の長袖のチョッキ)、ショーダグ (suudag、パンツ)、ゴタル (長靴)	力士は鷹の舞をする。3,5,7 回戦で称号のある力士を讃える。取組み中、力士の脱いだ衣装の襟を捻る。決勝戦の際に、東西介添人が一斉になだれ落ちる所作をする。勝者はイデー (idee、食物類) を観客に撒く。	肘、膝、頭、背中の中のいずれかが地面に着けば負け。足取りは可。称号のある力士は 1, 2, 4, 6 回戦以外*は対戦相手を指名できる。体重級別はないが、近年時間制限が設けられている。 *2003 年から改定された新規則。それまでは 3 回戦以降全取組みが指名制だった。	512 名のトーナメントで、16 位ならナチン (はやぶさ)、8 位はハルツァガイ (オオタカ)、4 位はザーン (象)、2 位はガルディ (伝説上の巨鳥)、優勝はライオン。ライオン力士が再度優勝すればアヴァルガ (巨人) など。
	ウジユムチン・ブフ (中国・内モンゴル)	ゾドグ (革製の半袖のチョッキ)、バンジル (banjil、だぶだぶの白いズボン)、トーホー (tukhuu、さまざまな模様を施した膝掛け)、ゴタル (長靴)	力士はライオンの跳躍や種ラクダなどの所作をする。入場の際、力士の歌を三唱する。取組み中の力士の脱いだ衣装の襟を捻る。勝者はイデーを振りまく。	足の裏以外の部分が地面につけば負け。足とりは不可。体重級別はない。近年時間制限を設けている。	強い力にはジャンガー (首飾り) を授与。ジャンガーを持つ力士が引退する際、それを地元の若い力士に譲り渡す。
	バルガ (Barga) ・ブフ (内モンゴル東部 Hulunbuir) 地方	ゾドグ、ズボン、長靴	力士は種馬と鹿の跳躍で入場する。ブーツのなかに入れる足を防御するためのトリア (Tolio) には猛禽や猛獣の模様を刻む。	同上	称号やジャンガーの授与習慣はないが、引退式あり。
組合型	ボホ・ノーロルドーン (モンゴル国西部、中国新疆オイラート地域)	上半身裸、革製のパンツのみ着用。裸足。	ブフ・ヘブレフ (bukh hevleh) の舞をする。種牛をまねてにらみ合い、砂を撒き、草をもぎ取って噛んだりして相手を威圧する。優勝力士と最下位力士が特別待遇を受ける。	相手の両肩を地面につければ勝ち。三本勝負。力士の力量によって 3 階級あり。体重級別・時間制限なし。	称号やジャンガーの授与はなし。前年度の優勝力士に羊の骨付きの腰骨を与え、敬意を示す。
	ブリヤート・ブフ (ロシア領内)	上半身裸。短いズボンと長靴を履く。	種ラクダ、種牛のまねをして、砂を撒き、頭をぶつけ合ってから取り組む。	膝以上の部分が地面につけば負け。体重級別やじか制限なし。	称号やジャンガーの授与はなし。
	ジャルボル (Shalbur) ・ブフ (内モンゴル西部アルシャ地方)	ズボン、長靴。腰と両太ももの付け根に紐を縛る。	種ラクダの噛み合いの所作をする。舞い方を不明だが、入場の歌あり。勝者はイデーを振りまく。試合後に年配力士が滑稽な所作をして余興としてのブフを行なう。	膝以上の部分が地面につけば負け。予め規定の組み手によって組み合うが、取組み中の組み手の変更は不可。体重級別・時間制限なし。	同上
	Deed Mongol bukh (中国青海省)	専用コスチュームなし	出場の際、赤、黄色の絹で頭を被う。予め描いた円の中で相手を倒すことが強さのシンボル。	同上。ただし、力量による 4 階級ある。	称号の授与はないが、優勝力士の首には赤い絹を結ぶ。